

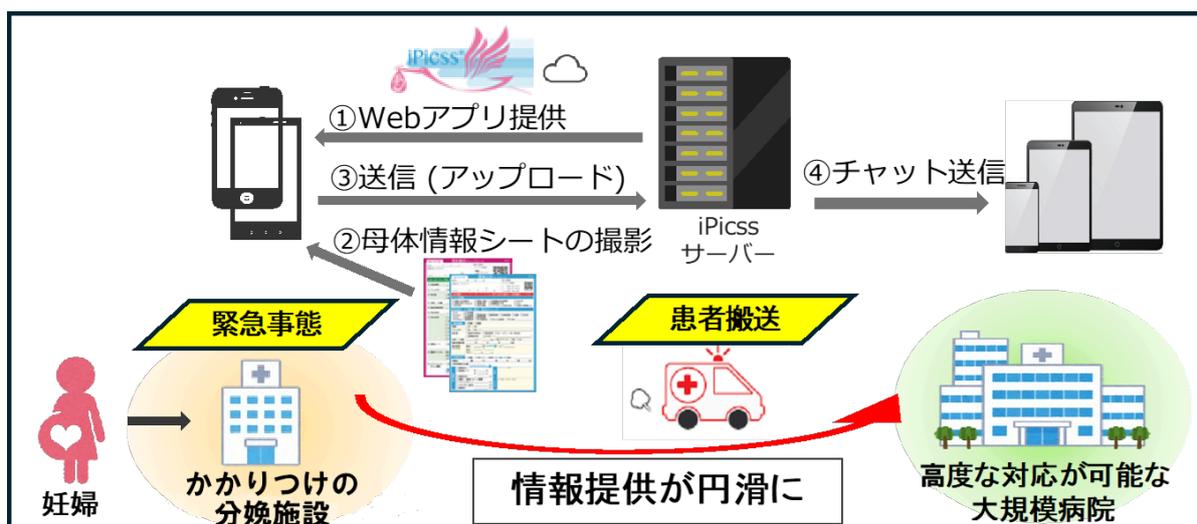
2025年3月4日

報道関係者 各位

## 医療 DX で迅速かつ効率的な母体搬送を再構築 周産期緊急搬送補助システム“iPicss”の導入

群馬大学（群馬県前橋市）は、群馬県地域医療介護総合確保基金を活用した群馬県からの補助を受け、**周産期緊急搬送補助システム(iPicss : アイピクス)**を運用します。

2025年3月より運用を開始し、2026年度までに県内の全分娩施設への導入を目指します。



### 1. 本件のポイント

- アプリを使用した患者情報の伝達により、母体搬送をさらに円滑に行うことが可能となる。
- 医療 DX で医療者の負担軽減が期待できる。
- 群馬県内の安全・安心な周産期医療に繋がる事業となることが期待される。

### 2. システム導入の背景

周産期医療は地域の分娩施設と高次医療機関との連携で成り立っていますが、ハイリスクな妊娠が増加する一方で分娩施設数の減少が進んでおり、地域の周産期医療の確保が課題となっています。また、周産期医療において、母児の状態によっては高次医療機関への転院が必要になることがあり、症例によっては遠方の施設へ転院する必要が出てきます。

現在群馬県では母体の転院搬送が必要と判断された場合、医療機関同士が電話連絡を行い、受け入れが可能かを判断し、『母体搬送情報提供書』を記載して搬送するという手続きをとっています。搬送先の施設は産婦人科が電話の窓口になり、患者さんを受け入れられるかを小児科や手術室等

に確認をとり搬送元施設へ返答します。搬送元施設は症例によっては複数病院に同様の説明を行わなければならない、小規模施設では搬送の準備を少人数で対応しなければならないとなります。この搬送手続きのために、母体の急変発生から搬送先到着までに時間を要することがあります。

### 3. システムの概要

医療 DX でこの母体搬送の円滑化を図るべく、今回「群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」を活用し周産期救急搬送補助システム(iPicss : アイピクス)を群馬県内に導入する運びとなりました。

iPicss は岡山大学が開発したシステムで、2019 年より岡山県内の全ての周産期施設で運用されています。搬送元施設が、簡略化した母体情報シート（1分で記載可能）をスマートフォンやタブレットなどの端末で撮影し、クラウド上にあげると搬送先施設が情報を閲覧することができ、受け入れ可能かを短時間で判断できるというシステムです。

実際に岡山県では搬送時間の大幅な短縮（従来比 40%の治療開始時間の短縮）ができた実績があります。また、災害時への応用も可能で、iPicss は緊急時に 1 秒でも早く必要な情報を伝達するためのホットラインとしての役割を担っています。

群馬県でも iPicss を導入することで、転院等に係る煩雑な手続き業務が簡素化され、医療者の負担軽減となることが期待されます。また、それにとまなう搬送の円滑化によって、母児にとっても安全・安心な周産期医療に繋がる事業となることが期待されます。

### 4. 関連リンク

群馬大学

<https://www.gunma-u.ac.jp/>

群馬県：群馬県地域医療介護総合確保計画及び基金事業について

<https://www.pref.gunma.jp/page/1898.html>

群馬大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野

[https://www.med.gunma-u.ac.jp/graduate/med-organization/obstetrics\\_and\\_gynecology](https://www.med.gunma-u.ac.jp/graduate/med-organization/obstetrics_and_gynecology)

#### 【本件に関するお問合せ先】

群馬大学大学院医学系研究科産科婦人科学 日下田大輔・上原理紗

#### 【取材に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部総務課

広報・保健学庶務係

TEL : 027-220-7895、FAX : 027-220-7720

E-MAIL : m-koho@ml.gunma-u.ac.jp